

変更

名古屋城総合事務所への連絡 不要  
名古屋城内撮影用腕章 不要

愛知県政記者クラブ同日発表  
中部芸術文化記者クラブ同日発表



平成 22 年 9 月 21 日 (火)  
愛知県県民生活部文化芸術課  
国際芸術祭推進室  
担 当：岩田・菊池・加藤  
電 話：052-971-6114 (ダイヤルイン)  
内 線：724-501・502・506

## 都会の中心に突如出現する巨大な光のタワー！！ 池田亮司 spectra[nagoya] 取材上のお願ひ

9月24日(金)、25日(土)に「あいちトリエンナーレ 2010」の目玉イベントの一つであるスペクトラナゴヤ (spectra[nagoya]) を名古屋城二の丸広場にて開催いたします。  
会場内での取材については下記にご留意いただきますよう、お願ひ申し上げます。

### 1 取材について

- 取材を希望される場合は、あいちトリエンナーレ実行委員会事務局へ取材日前日までに社名、取材人数、取材責任者お名前、取材当日のご連絡先、撮影有無、媒体名をご連絡下さい。  
連絡先…Tel : 052-971-6114  
E-mail : geijutsusai@pref.aichi.lg.jp

~~○名古屋城敷地内でテレビ、新聞、雑誌等の取材を行う場合には、事前に名古屋城総合事務所への連絡が必要とされております。~~

~~連絡先…Tel : 052-231-1700 (9:00-17:00)~~

~~参考URL : [http://www.nagoyajo.city.nagoya.jp/06\\_question/06\\_04\\_sonota/index.html](http://www.nagoyajo.city.nagoya.jp/06_question/06_04_sonota/index.html)~~

### 2 会場への入場について

- あいちトリエンナーレ 2010 のプレス証が必要です。お持ちでない方は、名古屋城チケット売場横 (正門・東門) にてプレス証をお渡しします (14:00 以降)。

~~○撮影を伴う取材の場合は名古屋城内撮影用腕章が必要となります。名古屋城総合事務所 (正門北側売店の2階) にてお受け取りください。~~

### 3 その他留意事項

- 池田亮司氏へのインタビューや池田氏自身の撮影は本人の要望によりご遠慮いただいております。
- 撮影にかかる照明の使用については、作品演出の都合上、必要最小限として下さい。
- 作品制作にかかる作業は 9 月 21 日 (火) より開始しておりますが、その作業風景を会場で取材することは、池田氏の要望によりご遠慮いただいております。なお、24 日 (金)、25 日 (土) の取材の為に事前に会場の下見をすることは可能です。この場合も、事前にあいちトリエンナーレ実行委員会事務局までご連絡下さい。
- テレビ中継車の駐車スペースを愛知県体育館駐車場に確保しております。中継車を使用する場合は、事前にあいちトリエンナーレ実行委員会事務局までご連絡下さい。なお、24 日 (金)、25 日 (土) とともに愛知県体育館でイベントがあるため、15:00~18:00 の間は車の出入りができませんので、ご注意下さい。(中継準備作業は同時間内も可能です。)

## <スペクトラナゴヤ 会場及びスケジュール>

### ○会場

名古屋城 二の丸広場（下記地図参照）



### 【アクセス】

地下鉄名城線 「市役所」 下車 7 番出口徒歩 5 分、  
地下鉄鶴舞線 「浅間町」 下車 1 番出口徒歩 12 分  
市バス栄 13 号系統名古屋城正門前、基幹 2 号系統市役所より徒歩 5 分  
名鉄瀬戸線東大手駅より徒歩 15 分

### ○スケジュール

9 月 24 日（金）、25 日（土）（雨天決行）

点灯時間：オールナイト（点灯式等はなく、夕方（17 時 20 分頃）から点灯し、暗くなるにつれて徐々に光のタワーが出現します。）

開場時間：17 時 30 分～23 時 30 分

（9 月 23 日（木・祝）20 時～22 時に点灯テストを予定。※作業の進捗によりテスト時間は変更することがあります。）

## <参考>

### ○一般観覧者の入場料

あいちトリエンナーレ 2010 の「国際美術展チケット」で入場可。

国際美術展チケットをお持ちでない方は、下記入場料が必要。当日会場にて、17:00 より販売。

高校生以上：500 円 中学生以下：無料 ※割引はありません。

### ○作家紹介

池田亮司

1966 年岐阜県生まれ、パリ在住。

日本を代表する電子音楽の作曲家であり美術作家。超音波や周波数、音それ自体の本質に焦点をあてる。データ、光、音への強い関心から、数学的手法で音楽、時間、空間を構成し、それらの物理的特性と人間の知覚との関係性を明らかにするという、感覚としての現象を追求している。

### ○作品介绍

名古屋城二の丸広場にて、成層圏まで到達する 64 台のサーチライトによる強烈な白色光と、10 台のスピーカーから出力される音の波とを組み合わせたインスタレーション《spectra[nagoya]》を展開する。都会の中心に突如出現するこの巨大な光のタワーは、雲の動きや雨によって常に変化し続け、その姿を街のどこからでも見ることができる。